



笠松銘菓で 一人暮らし高齢者を応援

7月下旬、笠松町民生委員児童委員の皆さんが見守り登録をされている一人暮らし高齢者宅（約350人）を訪問し、新型コロナウイルス感染症の影響により閉じこもりがちな高齢者を応援するため、笠松町菓子工業組合による「笠松銘菓」の詰め合わせを届けました。

お菓子を受け取られた方からは、「とてもありがたい、おいしそうです。」と感謝のお声をいただきました。



協働のまちづくりを推進 株式会社中広との連携に関する協定締結式

7月30日、地域活性化に向けたタウンプロモーションを推進するため、月刊「GiFUTO」の発行などを手掛ける株式会社中広と連携に関する協定を締結しました。

今回の協定締結を受け、株式会社中広が有するアイデアやノウハウなどの資源と、町が有する情報や地元のネットワークなどの資源を結び付け、お互いの強みを活かしながら、地域の魅力や知名度向上に向けた取り組みを推進していく予定です。



笠松中学校生徒による 募金活動が行われました

笠松中学校1年生による「令和2年7月岐阜県豪雨」の募金活動が行われ、7月30日には役場と福祉健康センターで、31日には笠松中央公民館で、施設利用者に対し、募金の協力を呼びかけました。

皆さんの温かいご支援、ご協力により、8月18日までの受付期間中に集まった多くの募金は、下呂市社会福祉協議会へ寄附され、今回の豪雨により特に甚大な被害を受けた下呂市の復興支援に役立てられます。ご協力ありがとうございました。



町体育協会から要望書提出

8月7日、町体育協会から「体育施設に関する要望」が町長に提出されました。

町民の皆さんが体育施設を安心・安全に利用できる環境にしたいという思いから、各種目団体の方から意見を聞かれ要望されたものです。

町としては、可能な限りこの要望にお応えできるよう、今後体育施設の整備を進めてまいります。